

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-353359

(43)Date of publication of application : 24.12.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 10-155635

(71)Applicant : ORIENT CORP

(22)Date of filing : 04.06.1998

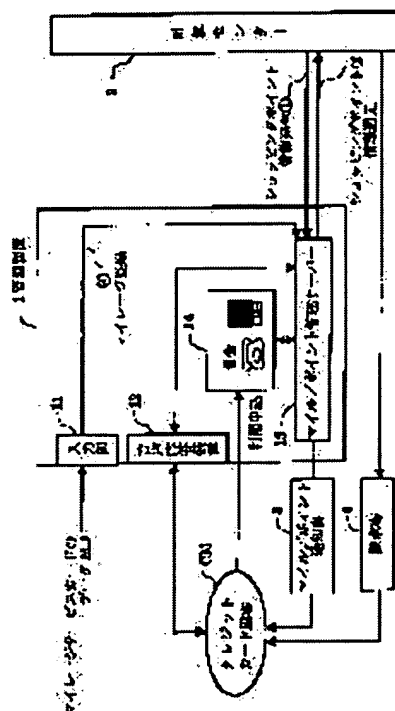
(72)Inventor : CHIBA KENJI  
KITAMURA KEI

## (54) MANAGEMENT DEVICE FOR CREDIT CARD

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To facilitate the use of a credit card and mileage service by managing the sum of both use points and shopping points together with the use points and shopping points.

**SOLUTION:** The management device 1 inputs data MD of a mileage service card from an airline company through an input part 11 and sends them to a server 13 for mileage registration. When a credit card customer CM uses the credit card, shopping point information is generated and sent from the credit card computation center 2 to the server 13. The server 13 adds mileage- registered use points to shopping points and returns the result as shopping point information to the computation center 2. The credit card customer CM, when he desires to know the total current use points, inquires them of the server 13 through a voice answering device 12 and the server 13 outputs a notice 3.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 25.01.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-353359

(43) 公開日 平成11年(1999)12月24日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

3 4 0 Z

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-155635

(22) 出願日 平成10年(1998) 6 月 4 日

(71) 出願人 595156322

株式会社オリエントコーポレーション

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号

(72) 発明者 千葉 賢二

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 株式

会社オリエントコーポレーション内

(72) 発明者 北村 圭

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 株式

会社オリエントコーポレーション内

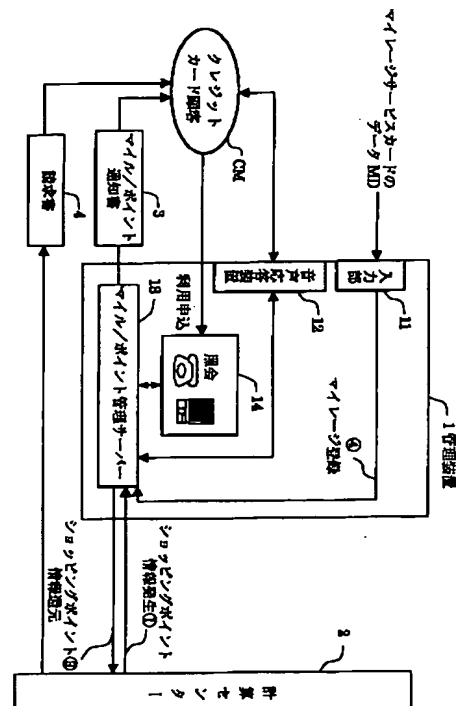
(74) 代理人 弁理士 茂泉 修司

(54) 【発明の名称】 クレジットカードの管理装置

(57) 【要約】

【目的】 クレジットカードのショッピングポイントの限度数と利用ポイント数累積カード（マイレージサービスカード）の利用ポイント数が消去されてしまうという問題を解決することにより、クレジットカード及びマイレージサービスの双方において利用度を高めることのできるクレジットカードの管理装置を提供する。

【構成】 提携先他社の利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を自社のショッピングポイント累積式クレジットカード用のショッピングポイント数に加算して管理し、この加算値に関する問い合わせを受けた時にその加算値を回答するとともに、その後、該利用ポイント数は消去する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 提携している他社の利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を入力する入力部と、顧客からショッピングポイント累積式クレジットカードのショッピングポイント数の問い合わせを受け付けるとともにその回答を該顧客に出力する受付回答部と、該利用ポイント数及び該ショッピングポイント数とともに両ポイント数の加算値を管理し、この加算値に関する該問い合わせを受けたときに該受付回答部により回答し、その後、該利用ポイント数を消去する演算部と、を備えたことを特徴とするクレジットカードの管理装置。

【請求項 2】 請求項 1 において、該演算部が、該利用ポイント数を、該ショッピングポイント数に換算して加算することを特徴としたクレジットカードの管理装置。

【請求項 3】 請求項 1 において、該利用ポイント数が、該ショッピングポイント数によって決まるポイント限度数を越えているとき、該演算部は、該利用ポイント数の内の該ポイント限度数だけ該ショッピングポイント数に加算することを特徴としたクレジットカードの管理装置。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、該演算部が、該ショッピングポイント数を該利用ポイント数に加算した第 2 の利用ポイント数も同時に演算して管理し、該問い合わせを受けたときに該第 2 の利用ポイント数を同時又は選択的に出力することを特徴としたクレジットカードの管理装置。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 のいずれかにおいて、該受付回答部が、音声応答装置であることを特徴としたクレジットカードの管理装置。

【請求項 6】 請求項 1 乃至 5 のいずれかにおいて、該利用ポイント累積式カードがマイレージサービスのカードであることを特徴としたクレジットカードの管理装置。

【請求項 7】 請求項 1 乃至 6 のいずれかにおいて、該演算部が、該加算値の回答を、該受付回答部を介さず該クレジットカードの通知書又は請求書に記載することにより行うことを特徴としたクレジットカードの管理装置。

## 【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 本発明はクレジットカードの管理装置に関し、特にショッピングなどにより利用ポイント数が累積して行くクレジットカードの管理装置に関するものである。

## 【0001】

【従来の技術】 従来よりクレジットカードには、その利用金額に応じてポイントが加算されるショッピングポイント (SP) のサービスが広く行われている。一方、航空会社を中心に行われているサービスとして FFP (Fr

equent・Flyer・Program:常連顧客優待制度)がある。

これは、特定の航空会社の会員となり、飛行距離に応じて獲得したマイル (利用ポイント数) の累積により、無料航空券や景品、アップグレード (搭乗クラス変更) などのサービスが受けられるものであり、マイレージサービス、マイレージプログラム等とも呼ばれている。

【0002】そしてさらに、クレジットカードを利用して買い物をした金額に応じてマイルが加算されるというショッピングマイルというサービスも行われている。これは、例えば、100 円のショッピングをクレジットカードで行った場合に 1 マイルが加算されるというサービスであり、航空会社のみならずカード会社にとっても顧客を獲得するための大きな効果を挙げている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のクレジットカードのショッピングポイントの還元率は利用額の 1~2% が限界であり、またマイレージサービスはそのサービスを受けた後はそのサービス分に相当するマイレージが消去されることになる。また、ショッピングマイルのサービスにおいても基本的にはクレジットカードによるショッピングポイントと同様であるのでその利用額には同様の制限がある。

【0004】従って本発明は、クレジットカードのショッピングポイントの限度数と利用ポイント数累積カード (マイレージサービスカード) の利用ポイント数が消去されてしまうという問題点を解決することにより、クレジットカード及びマイレージサービスの双方において利用度を高めることのできるクレジットカードの管理装置を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため、本発明に係るクレジットカードの管理装置は、提携している他社の利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を入力する入力部と、顧客からショッピングポイント累積式クレジットカードのショッピングポイント数の問い合わせを受け付けるとともにその回答を該顧客に出力する受付回答部と、該利用ポイント数及び該ショッピングポイント数とともに両ポイント数の加算値を管理し、この加算値に関する該問い合わせを受けたときに該受付回答部により回答し、その後、該利用ポイント数を消去する演算部とを備えている。

【0006】まず、入力部において他社の利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を入力して演算部に与え、該演算部ではこの利用ポイント数を管理する。同時に演算部においてはショッピングポイント累積式カードを利用することにより与えられる現在のショッピングポイント数が管理される。さらに演算部は、該利用ポイント数に該ショッピングポイント数を加算し、この加算値も同時に管理する。

【0007】そして、顧客が受付回答部からこの加算値

## 3

に関する問い合わせを行った時、演算部はこの問い合わせを受け付け、その加算値を受付回答部から顧客に対して回答する。その後、演算部は該利用ポイント数のみを消去する。

【0008】このようにして、本発明においては利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を他社から入力するだけなので、その利用ポイント数を減少させることができなく、また、自社のショッピングポイント累積式クレジットカードのショッピングポイント数に加算してサービスを受けることができるので、クレジットカードにおける利用限度額を越えて有効なショッピングポイントの活用が可能となり、サービスの拡大を行うことができる。

【0009】なお、上記の演算部は、該利用ポイント数を、該ショッピングポイント数に換算して加算することができる。また、該利用ポイント数が該ショッピングポイント数によって決まるポイント限度額を越えている時には、該演算部は該利用ポイント数の内の該ポイント限度数だけ該ショッピングポイント数に加算すればよい。

【0010】さらに、演算部は、該ショッピングポイント数を該利用ポイント数に加算した第2の利用ポイント数も同時に演算して管理し、該問い合わせを受けたときに該第2の利用ポイント数を同時又は選択的に出力することができる。

【0011】これによりクレジットカードのショッピングポイント数も利用ポイント累積式カードの利用ポイント数に加算でき、従来と同様のマイレージカードのサービスも受けることができる。

【0012】上記の受付回答部としては、音声応答装置を用いることができる。また、該利用ポイント累積式カードとして、マイレージサービスのカードを用いることができる。

【0013】また、上記の利用ポイント累積式カードとしてマイレージサービスカードを使用することができ、これにより、マイレージサービスカードの利用ポイント数を減らすことがないのでマイレージサービスカードの顧客は自分の累積飛行距離を維持することができる。

【0014】また、クレジットカードのショッピングポイント数をこのマイレージサービスカードに加算した形で利用すれば、通常のマイレージサービスカードが使用できない特定の顧客においても、加算されたポイント数により更に有効な利用を図ることが可能となる。

【0015】さらに、該演算部は、該加算値の回答を、該受付回答部を介さずに該クレジットカードの通知書又は請求書に記載することにより行うことができる。

【0016】

【発明の実施の形態】図1は本発明に係るクレジットカードの管理装置の実施例を示したもので、1は管理装置を示し、この管理装置1はクレジットカード会社の計算センター2に接続されている。

【0017】管理装置1はさらに、提携している他社で

## 4

ある例えば航空会社のマイレージサービスカードのデータMDを入力する入力部11と、クレジットカードの顧客CMから会員となっているショッピングポイント累積式クレジットカードのショッピングポイント数の問い合わせを受け付けるとともにその回答を該顧客に出力する受付回答部である音声応答装置12と、入力部11及び音声応答装置12に接続された演算部であるマイル/ポイント管理サーバー13と、マイル/ポイント管理サーバー13に接続されクレジットカード顧客CMが利用申込みを行うための申込装置14とで構成されている。

【0018】このようなクレジットカードの管理装置の実施例を図2(1)(マイレージがポイント限度より少ない場合)に示した動作説明図に従って説明する。まず、管理装置1は、航空会社からマイレージサービスカードのデータMDを入力部11より入力し、サーバー13に送ってマイレージ登録を行う。これは、図2(1)

に示すように、例えば1マイル=1ポイントで換算し、「10000マイル」のデータMDを「10000ポイント」の利用ポイント数MPとして登録管理することになる。

【0019】一方、クレジットカードの顧客CMがクレジットカードを利用すると、このクレジットカードの計算センター2からショッピングポイント情報が発生してサーバー13に送られる。この時のポイント数として図2(1)に示すように「20000ポイント」のショッピングポイント数SPがサーバー13に与えられる。

【0020】そして、このサーバー13においてはマイレージ登録した「10000ポイント」の利用ポイント数MPをショッピングポイント数SPに対して加算し(同)、加算値=2000ポイント+10000ポイント=「30000ポイント」のショッピングポイント数SPを演算し、これをショッピングポイント情報として計算センター2へ還元(同)する。

【0021】そして、クレジットカードの顧客CMが現在の合計利用ポイント数を知りたい時には、音声応答装置12を介してサーバー13に対して問い合わせを行う。これに回答してサーバー13は通知書(又は帳票)3により利用ポイント数の通知を行う。この場合は、「30000ポイント」のショッピングポイント数SP(同)をクレジットカードの顧客CMに音声応答装置12を介して回答する。

【0022】なお、計算センター2からはクレジットカードの顧客CMに対し請求書4を発行する際に、同時にこのポイント数を通知してもよい。なお、図2(1)に示す「10000マイル」のデータMDは同に示す「10000マイル」のデータMDをそのまま変更せずに利用することができ、累積飛行距離を重視する顧客に対してそのサービスを維持することが可能となる。

【0023】図2(1)に示した例は、獲得したマイレージが加算ポイント限度額(この例では2000ポイント)より少ない場合を示したが、該ポイント限度より多い場

10

20

30

40

50

ツットカードの管理装置によれば、提携先他社の利用ポイント累積式カードの利用ポイント数を自社のショッピングポイント累積式クレジットカード用のショッピングポイント数に加算して管理し、この加算値に関する問い合わせを受けた時にその加算値を回答するとともに、その後、該利用ポイントは消去するように構成したので、クレジットカードの利用限度額の影響を受けず利用ポイント累積式カードの顧客還元率によって利用ポイント数を拡大することができ、よりサービスを拡大させることが可能となる。

【0029】また、他社のマイレージデータには影響を及ぼさないで引き続き顧客の累積飛行距離を維持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明に係るクレジットカードの管理装置の実施例を示したブロック図である。

【図２】本発明に係るクレジットカードの管理装置の動作例（その１）を説明するための図である。

【図３】本発明に係るクレジットカードの管理装置の動作例（その２）を説明するための図である。

【符号の説明】

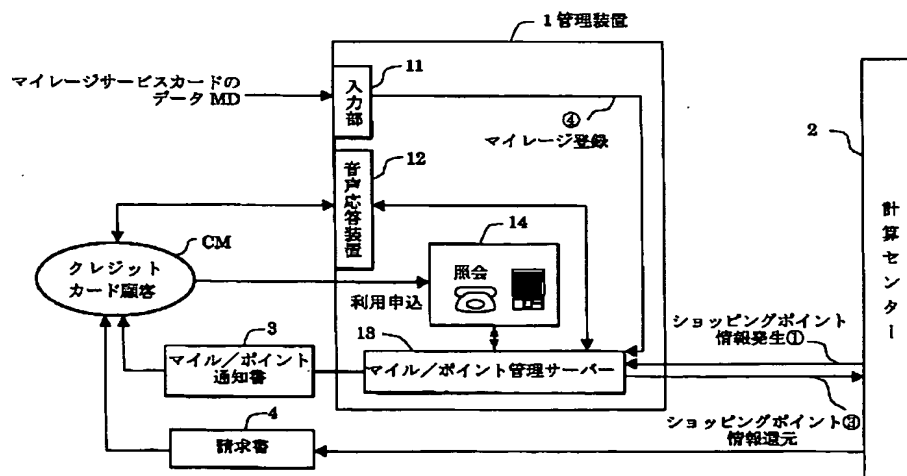
- 1 管理装置
- 2 計算センター
- 1 1 入力部
- 1 2 音声応答装置
- 1 3 マイル／ポイント管理サーバー
- 1 4 申込装置
- 3 通知書
- 4 請求書

30 CM クレジットカードの顧客

MD マイレージサービスカードデータ

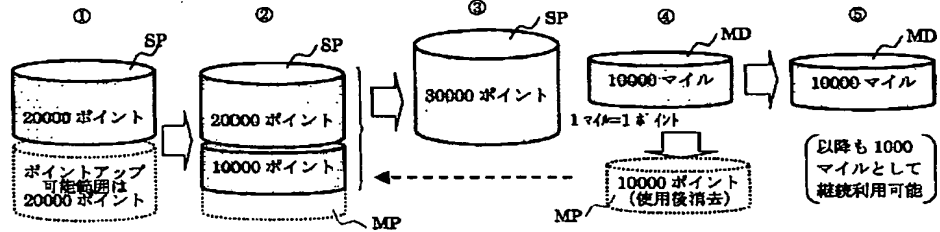
図中、同一符号は同一または相当部分を示す。

【圖 1】

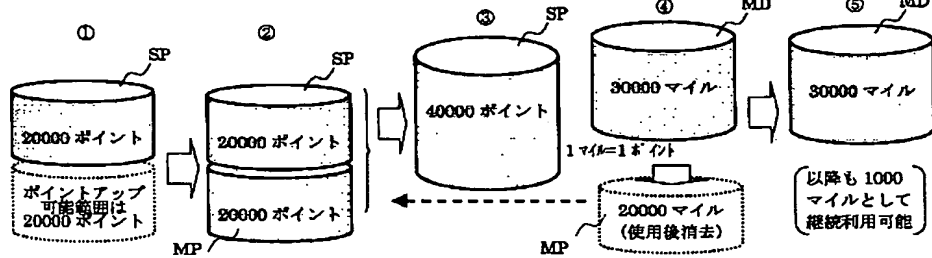


【図2】

(1) 獲得したマイルレージがポイント限度より少ない場合



(2) 獲得したマイルレージがポイント限度より多い場合



【図3】

